

北海道大学 J-PEAKS シンポジウム

リジェネラティブ食料生産システムによる Well-being社会の創造

Regenerative Transformation (RX) to Socio-Ecological Food Systems

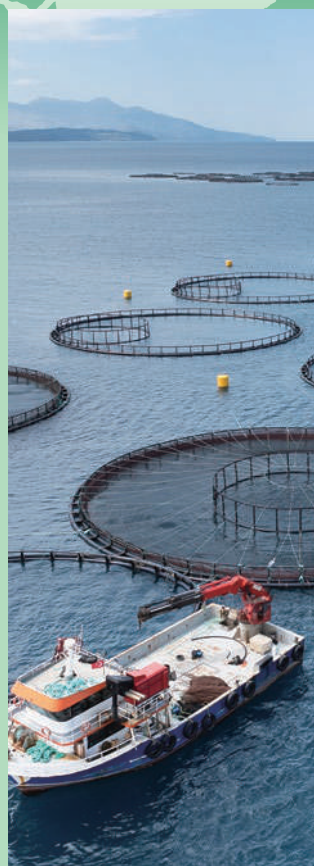
地球規模で進行する気候変動や生物多様性の損失、自然資本の劣化、地域社会持続性の危機は、従来の食料生産の在り方を見直し、持続可能な方向へと転換していく必要性を浮き彫りにしています。こうした状況の中で、これからの食料生産システムは、人類生存基盤である食料を持続的に生産しながら、自然環境の回復や生態系の多様性、地域コミュニティの持続性、ココロとカラダの健全性などを再生する新たな社会システムとして捉え直す必要があります。

本シンポジウムでは、リジェネラティブ食料生産システムを通じたWell-being社会の創造について学際的・実践的議論を展開します。

2026年10月29日(木)

北海道大学 学術交流会館

*オンライン配信あり（ハイブリッド開催）



申込方法

※切:2026年10月23日(金) 17:00

参加お申し込みは、右記のフォームよりご登録ください。

<https://area31.smp.ne.jp/area/is?SMPFORM=qclc-mbtasf-ced8fedfde1ce64085d70808fcf82f57>



シンポジウム 10:00-17:30

セッションタイトルおよび公演タイトルについては変更されることがあります。

場 所：北海道大学学術交流会館

参加費：無料

開会挨拶 寶金 清博（北海道大学 総長）

来賓挨拶 調整中

オープニングリマックス 西邑 隆徳（北海道大学 副学長／IRAFF 代表）

1 リジェネラティブ農業が拓く未来社会

Scope3 を視野にいれた農業体系の地球環境への貢献 信濃 卓郎（北海道大学 特任教授）

農と食を繋ぐスマートアグリフードシステム 村山 秀樹氏（山形大学 理事・副学長）

先端生物科学を応用した循環型放牧畜産に挑む：グラスフェッド和牛肉の生産 後藤 貴文（北海道大学 教授）

Regenerative Agriculture: Lessons from the Pacific and Australia Dr. Dorin Gupta
(Univ. of Melbourne Associate Professor)

2 リジェネラティブ水産業が拓く未来社会

北海道におけるリジェネラティブ水産業構築の試み 都木 靖彰（北海道大学 副理事・教授）
—キングサーモン養殖とコンブ養殖を例に

陸上養殖を基盤としたリジェネラティブな資源循環社会の創造 竹村 明洋氏（琉球大学 卓越特命教授）

養殖と環境の共生：ながさき BLUE エコノミーの取り組み 征矢野 清氏（長崎大学 教授）

Sustainable Salmon Production in Norway: Dr. Floriana Lai
Challenges, Innovations, and Future Perspectives (Univ. of Bergen Researcher/ 北海道大学 特任助教（クローアボ）)

3 リジェネでつくるネイチャーポジティブ社会

過疎地域における環境再生農業とネイチャーポジティブタウン構想の実装に向けて 内田 義崇（北海道大学 准教授）

地域自然資源の価値創造（地域社会の自立と自律に向けて） 高田 克彦氏（秋田県立大学 理事・副学長）

複数価値創造の視点から捉えるネイチャーポジティブ 天王寺谷 達将氏（岡山大学 教授）

ネイチャーインテリジェンスに基づいた新規的市場の創出へ向けて 久保田 康裕氏（(株) Think Nature 代表取締役 CEO）

4 食と健康とアートでつくる Well-being 社会

食と健康の未来を共創する—新潟大学の挑戦— 勝見 一生氏（新潟大学 特命教授・上席UA）

食の景観とグリーンジョブ 松八重 一代氏（東北大学 教授）

スローフード哲学と食のアクティビズム 石田 雅芳氏（立命館大学 教授）

アートと食がつなぐ Well-being 社会～地域・記憶・共に創造 / 想像する～ 畑 まりあ氏（東京藝術大学 特任助教）

閉会挨拶 瀬戸口 剛（北海道大学 理事・副学長）

学術懇談会 18:00-20:00

場 所：ホテルマイステイズ札幌アспен

参加費：7,000 円

シンポジウム会場



学術懇談会会場



※駐車場はございません。会場へは公共交通機関でお越しください。